

能登教区通信

このたび、標記通信2019年10月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申しあげます。

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 篠原 亨栄

教区教化事業のご案内

◆真宗に学ぶつどい(第1回)◆ 同朋会推進部門

- ・日 時 2019年10月3日(木) 午後7時から午後8時半まで
- •会 場 第3山方組 光済寺(志賀町代田)
- •講 師 相馬 豊 氏(金沢教区道因寺、本山修練道場長)
- 講題 この身、深き生を求めて
- •参加費 500円
- ・備 考 全2回の出席で、教師陞補第1種認定となります。第2回目は2020年5月中旬~下旬頃に 開催予定(会場未定)です。

◆こころの広場◆ 同朋会推進部門

- ・日 時 2019年10月19日(土) 午後2時から4時まで
- •会 場 能登教務所
- •講 師 河合 清閑 氏(元小松大谷高校講師)
- ・講題大震災に気付かされたこと
- •参加費 500円

◆教区報恩講◆ 総合教化本部

能登教区(済美精舎)報恩講を、11月12日(火)から13日(水)にかけて教務所(済美精舎)にて厳修いたします。本年も、ご出仕並びに有縁の方々へのご参拝をご奨励ください。

詳細は同封のチラシをご覧ください。また、同封のポスターを掲示板等に掲示いただき、ご門徒や有縁の皆様へ周知ください。

① 教区 (済美精舎) の報恩講の出仕について

出仕を希望される方は、<u>11月1日(金)必着</u>で同封のハガキ(出仕願)にてお申込みください。期限後の申込及び集会に遅れた場合は後座出仕となりますのでご注意ください。なお、組代表として出仕される場合は、組長を通じてお申し込みください。

② 教区 (済美精舎) 報恩講に伴う大掃除について

報恩講に向けて、11月7日(木)午前9時半から済美精舎大掃除を行いますので、できるだけ多くの組からの参加をいただきたく、ご門徒の方々もお誘いいただきご参加ください。

つきましては、教務所で昼食をご用意いたしますので、<u>11月1日(金)</u>までに参加いただける人数を 寺院ごとにとりまとめ教務所までお知らせください。

③ 教区 (済美精舎) 報恩講お斎用食材の寄付勧募について

報恩講でのお斎用食材(お米及び野菜)の寄付をお願いしています。たくさんの方に"安全"に"おいしく"食べていただくために、食材はできるだけ新しいものをお願いします。

なお、鮮度の関係上、お持込は<u>11月に入ってから</u>お願いします。何とぞご理解とご協力をお願い いたします。

④ 本山世話方への報恩講案内について

教区報恩講への参詣奨励のため、本山世話方宛に案内ハガキ(経常費等の金額は無記載)をお送りします。**案内が不要の場合は10月15日(火)までに**教務所へご連絡ください。

尚、本山世話方を選定されている御寺院には、名簿を同封していますのでご確認をお願いします。 もし、訂正等がございましたらあわせてご連絡ください。

教化事業・その他行事のご報告

◆教区声明講習会◆研修部門



去る9月2日(月)から3日(火)の2日間にかけて『教区声明講習会』が行われ、誘われて出席させていただきました。声明は日常で無関係というわけではなかったのですが、多人数の講習を受ける事が久しぶりだったので、緊張しました。

講習では、始めに事前アンケートに対して講師の先生が応えるという形式で行なわれたのですが、内容が門徒さん宅で問われた事や起こった事を事例に上げ、どの様に対応するのかのお話しでした。自分でも心あたりのある内容だったので、とても分

かりやすかったです。今後、問われた時に、不安にならずに応じられればと思いました。

声明に関しても、間違えやすい部分や、分かりにくい部分、あやふやになりやすい所等を実際に声に 出して取り上げて下さったので、とても分かりやすかったです。

今後も又、この様な講習会が行なわれれば受けたいと思いました。 (穴水組 極生寺 盛 玲奈 記)

◆連続教学講座◆総合教化本部

9月5日(木)から6日(金)の2日間、第17期連続教学講座(第6回)が行われた。講師は藤場俊基氏。 今回の研修範囲は、テキスト『浄土論註』下巻の「観行体相 種々事功徳から触功徳」。

初日に担当班より試訳・問題点の発題がなされ、2日目に講師より講義をいただいた。論註については宗祖の加点訓点が遺されているが、担当班からはそれに基づいた新説が提起されて、講師と同時に学べたことで非常に意義深い時間となった。曇鸞の論を端緒に、講師が親鸞の視点を教行信証の引文を使って説明してくれるのは、非常に有り難い。例のごとく漠然と聞き過ごしていくことのないように、私はにわかにメモを取るばかりであった。

教学というもの。それは教えを表現するためには不可欠であるが、信心獲得に不可欠ということではない。あまり考えたこともなかったが、さらにその教学をどこまでも手段化していくあり方を自己批判していくようにも教えられたと感じた。 (第2組 西教寺 竹津篤義 記)

本山・教区事務についてのご連絡

◇能登選挙区参議会議員の逝去について◇

さる9月3日、能登選挙区参議会議員大根幸栄氏が逝去されました。大根氏は2006年から 教区門徒会員(5期目)、2010年12月からは参議会議員(4期目)を務められました。 なお、10月7日(月)に参議会議員補欠選挙施行のための教区門徒会臨時会を招集します。

◇穴水組副組長補欠選挙による当選人の報告◇

さる9月14日、穴水組副組長辞任に伴う補欠選挙が行われました。次の方が当選されました。(敬称略) 副組長 堀河正見(弘誓寺)

◇事務休暇のお知らせ◇

下記期日、教務所事務休暇とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

期 日 10月21日(月)

緊急連絡先 090-5685-5611 (教務所携帯電話)

◇大谷祖廟納骨、永代経及び申経の受付時間変更について◇

大谷祖廟事務所では納骨、永代経及び申経の受付時間について、最終受付時間と最終案内 時間が同時刻であったことにより、受付時間終了間際にお申し込みを受けた際にご案内まで 十分な時間をとることが出来ず、参拝者の方に余裕を持った受付・参拝をしていただけない 状況がありました。

このような状況を改善するため、9月1日より受付時間について下記のとおり変更となりました。

午前受付:8時45分~11時<u>30分</u> 午後受付:12時45分~15時<u>30分</u> ※<u>最終案内時刻</u>は、午前11時45分、午後15時45分で変更はありません。

◇本山経常費完納寺院◇(2019.8.1~8.31 迄)

2019年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第1組	浄善寺	本乘寺	明專寺	第 10 組	覺性寺	了覺寺	高福寺
	照覺寺				本龍寺	嚴徳寺	專念寺
第3浜方組	本立寺				圓龍寺		
第5組	養福寺	真覺寺	智雲寺	第 11 組	龍光寺		
	名願寺	永法寺		第 12 組	西永寺	珀琳寺	長賢寺
第6組	西慶寺	善通寺			榮林寺		
第8組	善唱寺			第 13 組	淨泉寺	常福寺	大泉寺
鵜川組	蓮光寺	長龍寺	德善寺	第 14 組	稱蓮寺		
穴水組	誓運寺	隨照寺					

◇宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年·立教開宗八百年慶讃懇志金完納寺院◇ (2019.8.1~8.31 迄)

今年度より募財をお願いしております慶讃懇志金につきまして、ご完納いただき有難うございました。 ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第3 浜方組 本立寺 穴水組 誓運寺 隨照寺

第6組 西慶寺 第10組 覺性寺

 第8組
 善書唱寺
 第12組
 西永寺
 珀琳寺

 鵜川組
 蓮光寺
 徳善寺
 第13組
 淨泉寺
 大泉寺

◇「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年·立教開宗八百年慶讃事業」

周知用ポケットパンフレットの送付について(御案内)◇

9月末の本山からの定期直送便に標記パンフレットの見本(一部)が同封されています。 懇志奨励並びに慶讃事業の内容をご門徒にお伝えする一助としてぜひご活用ください。 パンフレットと一緒に申込用紙が同封されていますので、ご記入いただき教務所までお申し込みください。 (発送は10月中旬以降になります。)



◇住職就任◇(教区通信9月号 掲載以降)

鵜川組 光樂寺 大和 義廣 2019年8月28日穴水組 弘誓寺 堀河 正見 2019年8月28日

◇代務者就任◇(教区通信9月号 掲載以降)

第 12 組 西光寺 金剛 圭樹 (第 12 組 德蓮寺住職) 2 0 1 9 年 8 月 2 7 日 第 4 組 因宗寺 柏女 有教 (東京教区 千葉組 因宗寺住職) 2 0 1 9 年 8 月 3 0 日 第 11 組 圓成寺 安土 大善 (小松教区 第 2 組 照善寺衆徒) 2 0 1 9 年 9 月 8 日 第 13 組 頓聽寺 松谷 一峰 (第 13 組 妙樂寺住職) 2 0 1 9 年 9 月 8 日

◇敬弔◇(教区通信9月号 掲載以降)

御生前の御苦労を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第11組西方寺住職林山義丸2019年8月26日第6組立善寺前坊守玉岡琴見2019年9月1日第5組琳照寺坊守初瀬すみゑ2019年9月4日第10組本龍寺前坊守三牧道子2019年9月15日

※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。 適宜ご活用ください。

能登教区教化テーマ 能登教区教化スローガン 能登教区ホームページアドレス URL ほとけさまに遇いにきたいのち、今ともに生きよう 一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を http://ohigashi-noto.jp/